

# 専門的な知識と技術で一人一人に寄り添う



利用者の目線で

超高齢社会の進行により、介護職の重要度が高まっています。介護職は利用者から直接感謝され、やりがいを感じられる仕事です。また、さまざまな制度の改善により、働きやすい環境も整ってきています。介護職を取り巻く現状や市の取り組みなどを通して、その魅力を紹介します。

## 不足が見込まれる介護人材

超高齢社会の進行により、介護を必要とする高齢者が増える一方で、介護職の担い手不足が懸念されています。

国によると、令和元年度の全国の介護職員は約211万人。今後、団塊ジュニア世代が65歳を迎える2040年には、約280万人の介護職員が必要になると見込まれています。

## 市内の状況は

市内では約1、800人の介護職員が働いていて、要介護認定を受けた高齢者の身体介助・生活援助などを行っています。

介護職員が活躍する介護事業所

に選んでいただけるようになりました。それ以降、各介護事業所では、より質の高いサービスを利用者に提供するため、介護職員の労働環境の改善が続けられています。

近年では、利用者をベッドから車いすに移乗させる際のサポートなどを行う介護ロボットを導入して、介護職員の負担の軽減を図っている事業所もあります。

また、介護職員等処遇改善加算の創設といった賃金面を改善するための制度改正や、介護職員へのハラスメントを防止するための取り組みといった待遇の改善は、今後さらに進んでいく見込みです。

## 資格を取得してスキルアップ

高齢者の自宅を訪問するホームヘルパーとして働くにはあらかじめ資格が必要ですが、特別養護老人ホームやデイサービスなどで働く場合は、資格は必要ありません。現場で経験を積みながら資格を取得して、ステップアップしてい

## 進む労働環境の改善

また、介護サービスを必要とする高齢者の増加に伴い、現在新たな特別養護老人ホームなどの整備が進められているなど、新たな介護職の担い手の必要性が高まっています。

介護の仕事には「きつい・汚い・給料が安い」といったマイナスイメージを持つ人もいるのではないのでしょうか。

平成12年に介護保険制度が導入され、利用者が介護事業所を自由

## ×× 介護事業所で活躍している職員に聞きました ××



特別養護老人ホーム職員  
しのざき るり  
篠崎 瑠璃さん(介護福祉士)

特別養護老人ホームで利用者の身体介助を担当しています。

高校生の時に介護職員初任者研修を受講して介護についてもっと学びたいと思い、専門学校に進学して介護福祉士の資格を取得しました。

利用者から「ありがとう」の言葉をもらった時や、利用者の笑顔を引き出せた時はとてもうれしいです。

介護職に対し大変というイメージを持っている人もいるかと思いますが、それ以上に利用者との関わりから、楽しさややりがい、自分自身の成長を感じることができます。

今後も、さらに多くの知識や技術を身に付けて、たくさんの利用者と一緒にいたいと思います。また、利用者の家族とも関係が築けるケアマネジャーの資格にも興味があるので、チャレンジしていければと思っています。



デイサービスセンター職員  
おおふじ えり  
大藤 恵利さん(介護福祉士)

デイサービスで利用者の身体介助やレクリエーションを担当しています。

小学生の頃、祖母が入院していた病院で、同じ部屋のおじいちゃんやおばあちゃんたちが優しく話しかけてくれたのがとてもうれしく、心に残っていました。その時の出来事がきっかけで高齢者と関わる事ができる老人ホームで働きたいと考え、介護の仕事に就きました。

最初は資格を持っていませんでしたが、周囲の後押しもあって、養成学校に通い介護職員初任者研修と実務者研修を受講し、介護福祉士の資格を取得しました。

利用者から親しみを込めて下の名前前で呼んでもらったり、直接「ありがとう」と言われたりした時は非常に励みになります。最近はSNSで情報発信をしている施設もあるので、そのようなところから介護職に興味を持ってもらえたらいいですね。

くことができます。

介護職の資格には、取得に必要な時間が短く、内容の専門性が低いものから順に、介護職員初任者研修(初任者研修)、実務者研修、介護福祉士があります。

初任者研修は、以前はホームヘルパー2級と呼ばれた資格で、介護の基礎知識や高齢者の身体の特徴などを学ぶものです。130時間の研修を受講し、修了試験を受ける必要があります。ホームヘルパーとして働くためには初任者研修以上の資格が必要となります。

実務者研修は、450時間の研修を受講が必要ですが、初任者研修を修了している場合は、一部の課程が免除されます。より専門的な知識とスキルが求められます。

介護福祉士は介護事業所で3年以上実務を経験し実務者研修を受講した人のほか、大学や専門学校で介護を専門的に学んだ人などが受検できる国家資格です。さらに高度な知識・技術を身に付け、利用者の多様なニーズに対応することが期待されます。

### 介護職員をサポートする市の取り組み

市では、介護職員を支援するため、就業年数に応じた「介護版な

りた手当」の支給や、初任者研修を受講するためにかかった費用の補助を行っています。

### 介護版なりた手当

介護事業所で中心的役割を担う介護職員の定着を支援するため、就業年数(1~9年)に応じて2~10万円の介護版なりた手当を支給します。

### 初任者研修の補助

初任者研修を修了し、市内の介護事業所で3カ月以上勤務を続けている人が対象です。

初任者研修でかかった受講料と教材費の合計額を10万円まで補助します。

### あなたも介護職員を目指しませんか

専門的な知識や技術が身に付く介護職は、利用者一人一人に寄り添い、利用者やその家族の心と体の支えとなることで感謝の言葉をもたらえ、とてもやりがいのある仕事です。

あなたも、今後はますます必要とされる介護職員を目指してみませんか。まずは、介護事業所を見学して、職場の雰囲気を感じてみましょう。

※くわしくは高齢者福祉課(☎20・1537)へ。